

---

# チャンス!!!

ななじゅうご

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

チャンス!!!!

### 【コード】

N8009B

### 【作者名】

ななじゅーこ

### 【あらすじ】

平次とコナンの恋愛話。平次がコナンを教育します。笑

「おい、工藤。焦らんで平気なんか？」

ここは大阪、服部平次の家である。

コナン、蘭、小五郎の3人はゴールデンウィークを利用して大阪に旅行に来ていた。せっかく大阪に来るなら…ということで、平次はコナン達に平次の家で泊まるように薦めたのだった。

「なあ、にを焦るんだよ？」

「あの姉ちゃんのコトや…」

「姉ちゃんって…蘭のことか？」

「そや。工藤が小さなってる間に、誰か違う男にとられてしまつかもしれへんでえ。」

「べつに取られたって…」

「はあ、ん。じゃあ、あの姉ちゃんが他のオトコとつきあってもいいんかいな？他のオトコと何してもいいんかいな？」

「な…なんでそんなこと聞くんだよ！？」

「工藤があまりにもものんびりしてるからこういうこと言っんやで。早く元の体に戻ってあの姉ちゃんをGETせえへんと、どないすんや。」

「んな事言ったって…どーしようもねえだろ。組織の情報は全く入ってこないし…」

「そやなあ…完全に元の体に戻るまでにはまだまだ時間がかかるかもしれないなあ。」

そこで一瞬の沈黙……

「あ！！どないして高校の文化祭のときにちやっちやと言わなかったん！？」

「文化祭って…あの帝丹高校の文化祭の劇の時のことか？（名探偵コナン26巻）何を蘭に言うんだよ？」

「あの日の夜、工藤と姉ちやんでレストラン行ったんやろ！？あの時なんでちやっちやと言わなかったんや！？！？」

平次はだんだん熱くなってきた。

「な……なんで知ってたんだよ、レストラン行ったこと……」

あ！！！！灰原だな！？」

「そや。で、なんであん時、事件の前に言わなかったん！？！？あの後小さなってしもたやんか！！！！」

「だから、言うって何をだよ！？」

「【好き】っちゅう、愛の告白や！」

今度はコナンも別の意味で熱くなってきた。

「な……なっ、告白なんて……」

「告白なんてしようと思っただけでなかったとでも言いたいんか？そんな嘘が通じると思っただけかあ！！！！？？」

あんな、ああいうチャンスっていうのは、一度なくしたらもう二度とそのチャンスは来ないかもしれへんのやで！？」

「……………」

「お前さん、推理にかんしては天下一品やけど、恋愛に関してはオレのほうが上やな」

と、平次は笑った。

(後書き)

チャンスが来て、そのチャンスを逃してしまつたら、もう二度とそのチャンスは来ないかもしれない……  
ッていうことを伝えてみたかったです。今回は恋愛に関しての【チャンス】でしたが、他の事でもいえることですよね。

大阪弁が間違っている所があるかもしれないんですけど、それはお  
おめに見てください…苦笑

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8009b/>

---

チャンス!!!

2010年12月22日02時15分発行